

「福島ファン」の 増加実現へ

～現地学習による興味・関心の育成～

京都市立西京高等学校2年
堤 咲稀

1. 今までの活動



長崎県西海市の市役所 訪問

＜学び＞

- ・ゼロカーボンシティ
実現に向けた取り組み
- ・再エネの可能性

VENA ENERGY 台湾研修

＜学び＞

- ・台湾のエネルギー
問題
- ・日本と台湾の違い、
取り入れるべき良さ

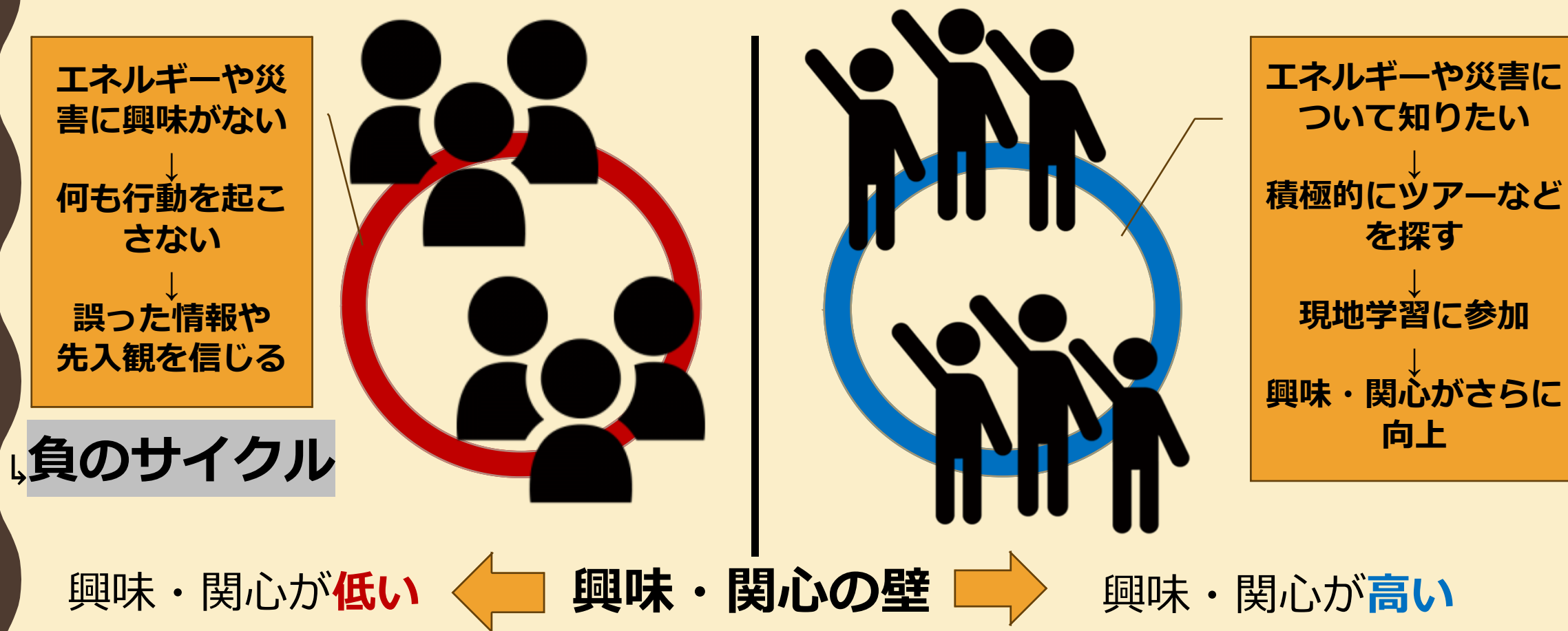
4度にわたる福島県 訪問&探究活動

＜学び＞

- ・福島県の現状、復興
の課題
- ・「自分の目で確かめ
る大切さ」

2.活動を通してわかったこと

現地学習に参加している学生はもともとエネルギーや災害への興味・関心がある人ばかり

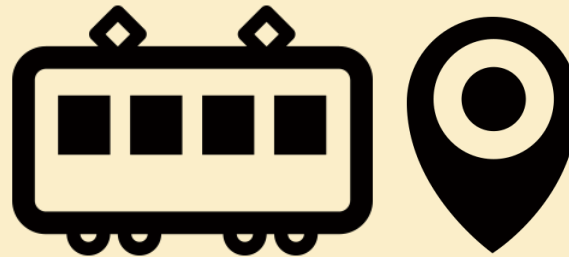


3. 現地学習の効果

脱負のサイクル！



興味・関心の**低い**人から



現地学習・ツアー参加



興味・関心の**高い**人になる

<効果①>

自然と興味・関心が高まる

↳目で見て、肌で感じて、声に出して学びを深められる
↳今までの**先入観**と**現地のギャップ**に心を打たれる

<効果②>

最高の仲間と出会える

↳一緒に課題解決の方法を考えたり、議論したりすることで**刺激**を受ける
↳必要な知識や情報を積極的に集めるようになる

<効果③>

自分事として物事をとらえられるようになる

↳実際に現地に訪れることで、**親近感**がわく
↳地元の人との交流を通して、**他人事**ではないと気づく

4.福島県に実際に訪れてみて



地元の人の温かさ・優しさ



震災の傷跡・復興の難しさ



福島県の
魅力

伝統品の継承



最先端技術の活用



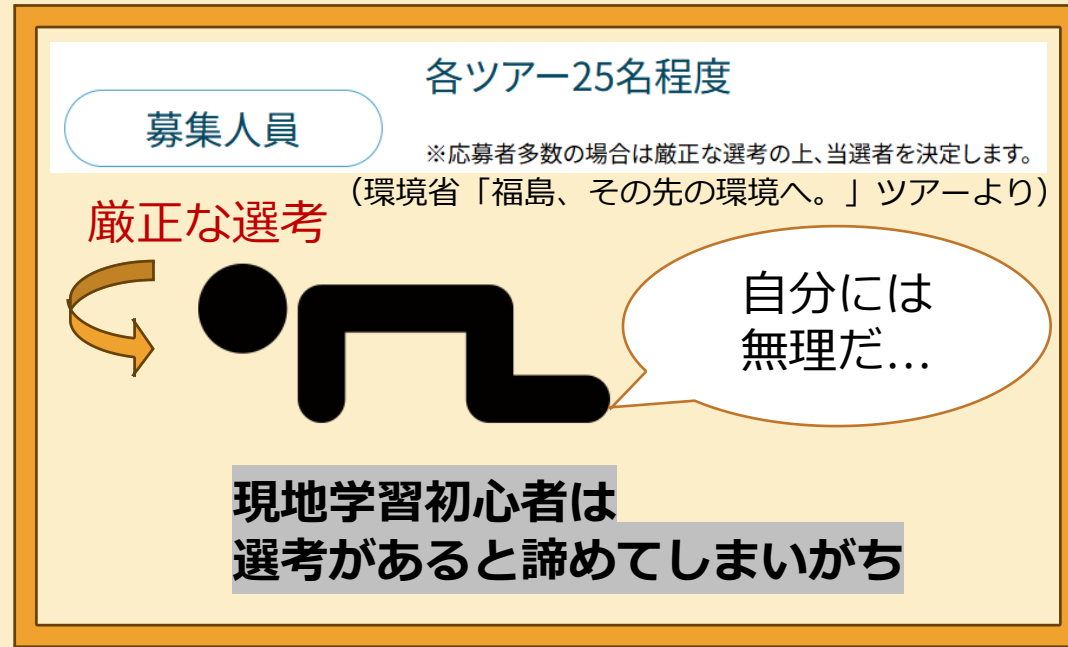
エネルギーや災害への興味が低い人
ほど福島県に訪れ、刺激を受けてほしい

<現在の課題>

- ・ツアーの存在を認知している人が限られている
- ・現地学習は興味・関心のある人だけが行う活動で、ハードルが高いとされている

どうすれば興味・関心の低い人も
現地学習に挑戦できる環境をつくれる？

5.福島ツアーの改定案①



～良さ～👍

・自分とは違うことに興味を持つ人と交流することで、**視野が広がる**

・エネルギーや災害への興味・関心が低い人が応募しやすくなる
↳ **福島県の課題について考える人が増加**



新募集方法

Step1.応募フォームにエネルギーや災害についての興味・関心を尋ねるアンケートを追加

Ex) ・興味・関心の五段階自己評価
・エネルギーや災害の知識問題

Step2.応募者のアンケート結果から2つのグループに分類



興味・関心が**低い**



興味・関心が**高い**

Step3.グループごとに審査基準をかえて選考



・自分の興味のあることを記入

↳ **熱意を重視**



・福島県で何を学びたいか記入

↳ **今後の展望を重視**

6.福島ツアーの改定案②

友達に「福島県で開催されているツアーに行ってきた」と伝えると...

- ・旅行じゃなくて学習が目的のツアーやったら大変そう。
- ・行程表見たら自由時間ほぼないやん!! お疲れ様。

「楽しそう」と言ってもらえなかった

↓「友達（エネルギーや災害に興味がない子）にも行きたい!」と思ってもらえるツアー」とは?



今の私にできること

- ①福島県で学んだことをできるだけ多くの人に伝える
↓積極的にプレゼン大会や地域の探求発表イベントに参加
- ②友達と一緒に福島ツアーに申し込む
↓身近なところから「福島ファン」を増やす



https://life.chosunonline.com/site/data/html_dir/2019/02/21/2019022180107.html



すべての魅力が詰まったツアーへ

案1.ツアー中に「ぶらり旅時間」を設置

- ・集合時間に間に合うならどこへ行ってもOK
↓現地の食事や景観を**自分好み**に楽しめる

案2.前泊・後泊の推進

- ・ツアーのホームページに福島県の魅力的な観光スポットやモデルプランを掲載
↓ゆったりと福島県を楽しんでもらえる

案3.少人数ツアーの実施

- ・4~10人程度の人数でツアーを行う
↓参加者同士が**仲良く**なりやすい

7.福島県の未来

福島県に4度訪れ、気づいたこと。

「私は福島県が大好きだ！」



たくさんの魅力が詰まった福島県 ⇒ 一度訪れるだけで「もう一度行きたい！」と思える

福島ファンの増加が福島県の未来を変える！